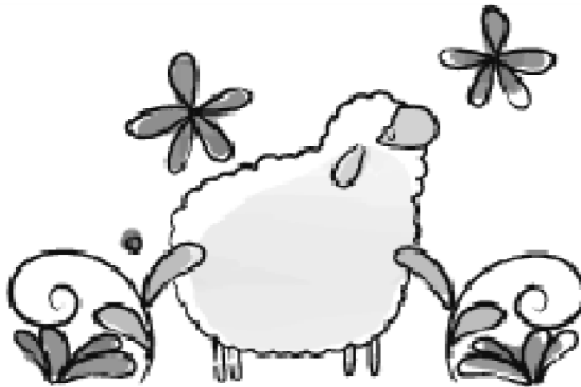




2015年1月号



～今月号の目次～

新年の挨拶	2
お知らせ	8
はらたち日記	9
会計報告	10

『あけましておめでとうございます』

後援会長 西野 潤

旧年中も後援会の皆様初め多くの関係機関の皆様には一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

『さいたまマック』が、より良質なプログラムを提供し続けるために必要な運営経費の一助として、昨年も一昨年同様の資金支援を行うことができました。

また、経済的支援以外にも、年2回のセミナー開催、3月には彩の子ネットフェスティバルでの模擬店、夏のさいたまマック主催の新潟フェロー、年末の餅つき大会、それぞれの準備実行にも貴重な時間を割いてのご支援、誠にありがとうございました。

今年も上記イベントは同様に開催を計画しておりますので、よろしくお願い致します。

今年の私自身の目標は『禁煙の継続』になりました。昨年秋の会社の健診で『要再検査』となり、受けた診断がCOPD（肺気腫）。破壊した肺細胞は再生されず、禁煙が必要との説明を受けました。いつぞやお酒の問題で受けた診断の時と同じだと苦笑。タバコは自力で止めようとして止められなかった経緯を話し、禁煙外来を予約していただいた時の先生の言葉「必ず禁煙できます」に大きな希望を感じました。

『さいたまマック』で、一人でも多くの仲間が救われるよう祈るとともに、皆様には本年もより一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



『新春のお慶びを申し上げます』

代表理事 杉村 利政

明けましておめでとうございます。

当施設は設立以来14年が過ぎようとしています。当初の、依存症者本人の為のプログラムのみから、昨年は御家族のプログラムを追加致しました。

6年間勤めて頂いた鈴木所長には再雇用として御尽力頂く事を御承諾頂きました。今後は気楽にお手伝い頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。今月から4名のスタッフの内2名が定年後の再雇用者になる予定です。施設運営上、頭数がそろえば良いとは言えず、スタッフの質が通所者の回復に大きく影響するところが有り、質の充実に努めてまいりました。本年は経験を積んだ所長に入職して貰う事を目標とし、知識と経験を活かせる方に現場をお任せしたいと思っております。

先日、月に1度の研修会に出席したのですが、理想とする型にはまだ時間が掛かる気がしました。『組織における人材育成が如何に時間の掛かる作業であるか。』を痛感致しました。もちろん当事者は、懸命に励まれていましたが、的外れの方向も垣間みられ、これまでに固まった型を変える難しさを実感致しました。

昨年は当施設関係者での不幸が4件も有り、徐々に世代交代、引き継ぎ、申し送り等の気運が高まって来ました。14年間を振り返って次世代に引き継げる目録を整えたいと思っております。

今年の3月には弊社理事の改選も予定されています。2任期の短い期間ではありましたが、皆様に助けられて続ける事が出来ましたこと、深く御礼申し上げます。これからは皆様同様、『さいたまマック』を見守る立場で関わっていきたいと思っております。

今後とも『さいたまマック』への暖かい御支援をよろしくお願い申し上げます。

『明けましておめでとうございます』

施設長 鈴木 幸雄

昨年中は、色々お世話になり、心よりお礼申し上げます。今年もよろしく
お願い申し上げます。平成20年春に、さいたまマックの職員としてお手
伝いをさせていただいてから、早くも6年が過ぎようとしています。1月8
日が私の誕生日です。『66歳』になります。さいたまマックでの就業規程で
は、定年が65歳ですので、昨年的一年は定年延長の契約を結んでのもので
した。ことしの1月で再雇用となります。さいたまマック施設長という役職
をお返しして、一職員としておいて頂くことになりました。この6年を振り
返って見ると、毎日アルコール依存症の利用者達と関わることで、私自身が
大きな力を貰っていたのです。

昨年9月から電車とバスの定期を購入して通勤を始めました。それは、椅
子から立ち上がろうとする時に、膝に違和感があるのです。思い返せばこの
6年間、車で通勤していたので、歩くことがほとんど無かったのです。人間
は歳をとると『足から衰える』を正に実感しました。すごいですね。AAの
プログラムは、足を使うことの原点に戻してくれたのです。

昨年の2月9日（日）は、『第11回さいたまマックステップセミナー』を
開催する予定でしたが、前日からの大雪で中止とせざるを得ませんでした。
このため、同セミナーは、本年2月15日に開催することと致します。場所
は『さいたま市産業文化会館』です。皆様のご来場をお待ちしています。

最後にこの一年、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。そして立場
は変わりますが、今後ともよろしくご指導くださいますよう、お願い申し上げ
ます。



『あけましておめでとうございます』

職員 影下 妙子

『さいたまマック』設立当時からお世話になり14年。今年も心新たに新年を迎える事が出来ました。一重に皆様方の御力添いと心より御礼申し上げます。

プログラムの提供から食事の遣り繰りまで様々な苦しみと喜びの毎日、アツと言う間に過ぎました。「〇〇さんは来月11年のバースデーだよ!」「先月〇〇さんは7年のバースデー終わったよ!」と耳にする度、恐ろしい程の時の流れに只々驚くばかりです。

約10年前、『家事プログラム』と称した、女性に向けたプログラムを作ってみました。命をかけて産んだ筈の我が子を、振り向きもせず『酒』に溺れ、気が付けば精神科の『保護室』。そして、またまた気が付けば休み無しの『さいたまマック』。上目遣いに母親を見上げる幼子の瞳、深く哀しい親子の溝を目の当たりにした時、胸が張り裂ける思いでした。アルコール依存症の女性に『普通のお母さん』に戻ってほしい。その一念で始めたプログラムでした。

「明日、天気が良かったら布団を干して来てね!」「運動会の弁当は何にする?」…と、口うるさくも共に歩ませて貰いました。少しずつ、少～しずつ、『お母さん』の優しさを取り戻し、修了して行きました。今はマックを離れて、我が子に気配りしながら共に成長している姿。…まさに子育ては『共育』だったのでですね。間近に見させて貰えた私も大きな喜びを頂きました。

ところで、昨年11月、『成人男性のみの家族会』を立ち上げてみました。『家族教室』や『家族会』と言えれば参加者は殆どが女性です。その中に男性1人でポツリと参加して気楽に話す事が出来るのだろうか…?と、いつも感じておりました。男性のお話というものは、端々に家族をかばっておられるのが窺えるのです。それは、『否認』とは全然違う『男性の優しさ』なのでしょう。家族の苦しさが皆同じだとしたら、男性だけの小さな会なら話して下さるような気がして、暖めていた企画でした。始めてみたら「そこまで聞かせて頂いていいのですか?」と、驚くほど中身の濃い『成人男性の家族会』

になりました。やはり吐ける場所が必要だったんだ、と胸が熱くなる思いです。これからも、『聞いて下さい、聞かせて下さい。』・・・皆さんで、気楽に分ち合いましょう。

ところで私事ではありますが、また1年延長させて頂く事になりました。今後ともよろしくお導き下さいますよう、改めましてお願い申し上げます。

『明けましておめでとうございます』

職員 岡野 利男

昨年7月さいたま・新潟・秋田マック三施設合同宿泊研修会二日目の朝の事、皆で弥彦神社へお参りに行きました。

帰り道、民家の庭の赤い綺麗な花が目にとまり、一緒にいた通所者のKさんに「この花は何？」と聞くと「さるすべり（百日紅）だよ」と教えてくれました。私は、さるすべりの花を知りません、樹皮の無い、乾いた枯れ木のような冬のさるすべりしかイメージできませんでした。

「あの枯れ木が・・・、時が経つとこんなに変わるものなのか・・・。」しばし見入ってしまいました。

前日、浜辺で一緒に遊んだマックの仲間達が、まさに、この赤く咲いた“さるすべりの花”そのものでした。

仲間達は、みんなマックにたどり着いた時は冬の枯れ木、枯れ枝同様でした。しかし、マックプログラムに出会い、時が経ち、復活（回復）しています。昨年は、4名がさいたまマックを修了、社会復帰しています。

新しく来た仲間が、枯れ木からプログラムを踏んで花を咲かす。この姿を見させて頂く事が、今の私の最大の喜びです。

みんなで新潟へ綺麗に咲いた“さるすべりの花”を見に行きましょう。

皆様の、ご支援、ご協力に感謝いたします。

本年も、よろしく願いいたします。

『謹んで初春のお慶びを申し上げます』

職員 影山 実

旧年中は何かとご指導いただきありがとうございました。本年も同様によりしくお願い致します。

平成25年10月より始めさせて頂きました職員研修会も、すでに26回を数えるに至りました。近年、発達障害・統合失調症・高次脳機能障害等、アルコール以外の病症を抱えている方も受け入れさせて頂いてます。

そんな中、研修会において、専門医、PSW、相談員の方々のご意見・ご指導を頂き、本当に助かって居ります。それぞれに御活躍なさっておられる中、貴重な時間を頂き、ありがとうございます。

ケースカンファレンス（事例検討）の記入方法に関して、いろいろと試行錯誤している中、一応の形は出来つつありますが、まだまだ誤った記載や項目の不足等があるのは否めないところです。今後は、その点についても、さらに改善を図って行く所存であります。

自分は、今年も単独での判断はせず、職員間の連携、相談を大切にするとともに、自分の不足している点を見直し、レベルアップに力を入れて行きます。また、電話相談（面接依頼）についても手引書を参考にする等、適切に対処して行きたいと考えます。

まだまだ未熟な自分ではありますが、マックの職員として成長していける様、努力して行きたいと思えます。

皆様には、本年も変わらぬ御指導をお願い申し上げます。



「家族会」のご案内

(本会は成人男性に限らせて頂いております)

日 時： 平成27年 1月17日(土曜日)
18時より19時30分まで
場 所： さいたまマック

1月の通所者外プログラム

- 8日(木)・・・スポーツプログラム(障害者交流センター)
- 11日(月)・・・AAさきたまグループステップセミナー(東大宮コミュニティセンター)
- 15日(木)・・・調理実習(障害者交流センター)

1月のスタッフ渉外・メッセージ活動

(近隣地域の病院、福祉、保健所、施設への広報と交流)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 7日(水)・・・マック・ダルク連絡会 | 18:30~20:00 |
| 6日(土)・・・与野中央病院 | 13:45~15:30 |
| 8日(木)・・・久喜すずのき病院 | 13:30~15:00 |
| 14日(木)・・・所沢慈光病院 | 13:30~14:30 |
| ・・・TSP会議 | 13:30~16:30 |
| 16日(金)・・・済生会鴻巣病院 | 14:00~15:00 |
| 28日(水)・・・県立精神医療センター | 14:00~15:00 |

福祉・保健所・病院から講演依頼があれば協力させて頂いております。

「あの人が残してくれた宝物・・・遺族の独り言」

はらたち日記

影下 妙子

○月○日

「ブッ殺してやる。」の嵐も薄れて来た頃、病院の家族会にビクビクしながら参加した。凍てつくような眼差しの夫と廊下でスレ違う。何の会話も、もちろん笑顔も無い。私の人生に、なぜか織り込まれていた出会いの人なのか、哀し過ぎる自分の人生を怨んだ。

母が第2子の『つわり』に苦しんでいたため、私は生後9ヶ月の時、父方の祖母に預けられた、と聞いた。日本舞踊やお琴を習い箱入り娘で育った母は、年子の子供を育てる事が出来なかったようで、手の掛かるうちは父の実家で暮らす事になったとも聞いた。

ところが小学2年の11月、父は3人の子供を残して急死。年子の子供に手を焼く母ですから、3人の子供を育てられるはずもなく、翌年、再婚。異父の妹が生まれ4姉妹となるも一緒に生活した事は無かった。祖母は3人の妹達と1日でも多く遊ばせたかったらしく、「妙子は妹が3人も居るんだから、私らが死んだ後、寂しい思いをしないように、とにかく行って遊んで来い。」そして「泊まって来い。」が口癖でした。でも本当のところ、私は行きたくはなかったのです・・・。

畳1帖ほどもある大きな囲炉裏に義父と母と私と一面ずつに正座し、夕食が済むと、祖母と叔母（実父の妹）の悪口としか聞こえない話を3時間も4時間も聞かされていました。もちろん私は祖母も叔母も大好きでしたから、囲炉裏の向こうの義父を煙越しに、チラッ、チラッ、と睨んでいたような気がします。妹3人のカン高い笑い声だけが楽しそうに響いていました。そんな義父と私の感情のズレを母は知っての事か、翌朝、小声で「ご飯食べたら帰りな。」と言う。私は、「うん！」と素直に良い返事をしていました。昨晚だって、今朝だって、大した会話もしてない妹達と、「さいなら〜。」の声だけは大きく交わして9時には母の家を出ていました。

後援会 11 月会計報告

収入の部	会 員 献 金	158,000	支 出 の 部	通 信 費	33,780
	賛 助 会 員	5,000		印 刷 費	10,800
	法 人 会 員	50,000		事 務 費	11,026
	会 場 献 金	3,295		行 事 費	0
	雑 収 入	0		雑 費	808
	① 収 入 合 計	216,295		運 営 委 員 会	0
	② 支 出 合 計	56,414		③ 収支差額 (①-②)	
				前月繰越金	2,930,726
				次月繰越金	3,090,607

12月17日(水)

マックダルククリスマスパーティー

(文京区民センター)

**ダルクの仲間、マックの仲間
関係者の皆さま、楽しいひと時を
ありがとうございました。**



発 行 : さいたまマック後援会

住 所 : 〒337-0032

さいたま市見沼区東新井710-33 鎌倉ハイツ1階さいたまマック内

Tel & Fax : 048-685-7733

Eメール : saitama-mac@tbj.t-com.ne.jp

ホームページ : <http://www.saitama-mac.com>

献金 宛先 : さいたまマック後援会<郵便振替、銀行振込共に>

郵便 振替 : 00100-7-151361 さいたまマック後援会

銀行 振込 : 埼玉りそな銀行 北浦和西口支店 普通3933653